

札幌コンサートホール Kitara

事業課 事業係長
清宮寛子

札幌コンサートホール（以下、「キタラ」という）は、1997年に北海道初の音楽専用ホールとして、札幌の中島公園という大きな公園の中にオープンしました。今ではすっかり定着した Kitara（キタラ）という愛称は、ギリシャ神話音楽の神アポロンの持つ楽器「キターラ」と「北にあるホール」という意味が込められています。

施設としては、3階席まであるアリーナ型の大ホール（2008席）と、2階バルコニー席を持つ小ホール（453席）を有しており、プロのアーティストだけでなく地元団体による演奏会も開催され、札幌の音楽文化の拠点となっています。

キタラの事業は、「伝える」「広げる」「育む」という3つの柱を基に企画・運営しています。音楽鑑賞事業「伝える」では、キタラの優れた音響設計を最大限に生かし、国内外で活躍するオーケストラ、ソリスト、室内楽等の公演を実施し、音楽の魅力を伝えています。音楽普及事業「広げる」では、キタラのシンボルでもあるパイプオルガンを活かし、開館以来専属オルガニストを1年の任期で海外から招聘してパイプオルガンの魅力を発信する事業をはじめ、市民が気軽に楽しめる公演を開催しています。教育・人材育成事業「育む」では、札幌市および近郊の小学6年生にコンサートを体験してもらうファーストコンサートやハンガリーから講師を招いて行うリスト音楽院セミナー等、音楽による人材育成や未来の聴衆づくりに取り組んでいます。

次に、コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響と、本劇場（キタラ）での取り組みをご紹介します。北海道、特に札幌は、発生が確認された当初から全国的にみても非常に厳しい状況が続き、キタラでも公演の中止や延期が相次ぎました（令和2年度は、予定していた主催事業30件のうち、実施できたのは8件、延期4件、中止18件）。

アーティストの演奏機会が減少していく状況で、音楽ホールとして何ができるかを検討し、動画の配信に取り組みました。コロナ禍において、多くのアーティストや団体が動画の配信を行うなか、キタラ独自の動画を届けたいと考え、演奏の動画に加え、パイプオルガンの紹介動画や専属オルガニストからのメッセージ動画を配信しました。

<札幌コンサートホール Kitara 公式 YouTube チャンネル>

<https://www.youtube.com/channel/UCrL7oIQzHgDWfUFdF5ldkQ>

この動画配信を通して得た成果としては、オンラインを活用した新しい鑑賞の発信や、アーティストへの演奏機会の提供とあわせ、ホールの様子やオルガンの歴史など、普段のコンサートでは見られない施設の紹介をできたことが挙げられるかと思えます。これまでに超越しいただいたことのない方、また来場が難しい遠方の方にもキタラを知っていただく機会に繋がりました。

一方で、まず著作権に関する難しさがありました。一度きりのコンサートと違い、長い期間での動画配信となると申請にかかる要件が厳しくなり、高額な著作権料であったり、配信の許可が下りなかったりということで、撮影した演奏の一部を削除せざるを得なかった動画もありました。

また、費用の面での難しさもありました。鑑賞される方が飽きないようなクオリティの高い動画を作成するため、カメラを数台入れ様々なアングルから演奏を撮影し、編集するということを行いましたが、入場料収入がないなかでどこまで支出の増加を飲み込めるかという課題も見えました。

2022年7月現在、感染状況は落ち着きを見せており、来場者の数も戻ってきているように感じますが、状況の変化に応じ、これまでの経験、課題を踏まえながら、引き続き柔軟な対応を行っていきたいと考えています。